

青山サロン みんなで俳句つくりましょう！

短歌・川柳・詩も OK

ハイクだより NO.1 2022年 12月



※ プレバト (mrt 毎週木曜夜 7時～) で大人気の夏井いつき先生のことばから

俳句を知ると人生が変わる！

俳句は、型さえ覚えればだれでもカンタンに作れる。俳句は生活のすべてとつながっていて、身の回りのことはどんなことでも俳句になります。五感を研ぎ澄ませ、よく観察していると俳句の材料は生活の中にいくらでも見つけることができます。

一度俳句を覚えると毎日が劇的に変わります。人生から退屈という言葉がなくなり、悲しいことや苦しいことにぶつかっても、それを乗り越える強大なエネルギーが心の中にみなぎってきます。



俳句こそ人生だ！

- 俳句で脳トレ！老けない脳に。
- 俳句で人生が楽しくなる！
頭もよくなる！
- 俳句で脳が若返る！
認知症も防げる！

俳句がうまくなるコツは、「とにかく毎日作ること」。1日1句が難しければ、日曜日を俳句デーと決めて7句作ってもいいでしょう。大事なのは作り続けること。スポーツと一緒に、ルールは覚える必要があるけれど、まずは走る。ボールをけるなどの練習をしなければ始まりません。理論や理屈は作りながら勉強していけばいいのです。

俳句のしくみ

- ① 五七五の十七音
- ② 季語が入る(季節を表す魔法の言葉。)
- ③ 切れ字がある(や かな けり)

◆古池や**蛙**飛びこむ水のをと (春)

松尾芭蕉

◆やれ打つな**蠅**が手をすり足をすする夏

小林一茶

◆柿くえば鐘が鳴るなり法隆寺 (秋)

正岡子規

◆大根煮て皆既月食待ちにけり (冬)

羽田任木子

◆酔客の声知らぬふり**クリスマス** (冬)

南亭骨太

短歌のしくみ

- ① 五七五七七の三十一音
- ② 季語はいらぬ。

●軒先に吊るす干し柿百五十

夕日の色を閉じ込めており

田村節子

●ハロウィンに若者多数

亡くなりて弔いの花韓国も菊

福島 恵

●コーヒーの甘きかおりのひとと

きにひとり暮らしみたされており

末永タカ子

●お互いの顔知らずして早朝の散

歩で交わす挨拶五人 荒尾洋一

川柳のしくみ

- ① 五七五の十七音
- ② 季語はいらぬ。

★仕方ない笑ってあげるオヤジギャグ

田尾八女

★少子化の子孫に残す大借金

榊原喜寿

★群集という名の凶器ハロウィン

大塚楯征

★「聞く耳」を岸田総理は使い分け

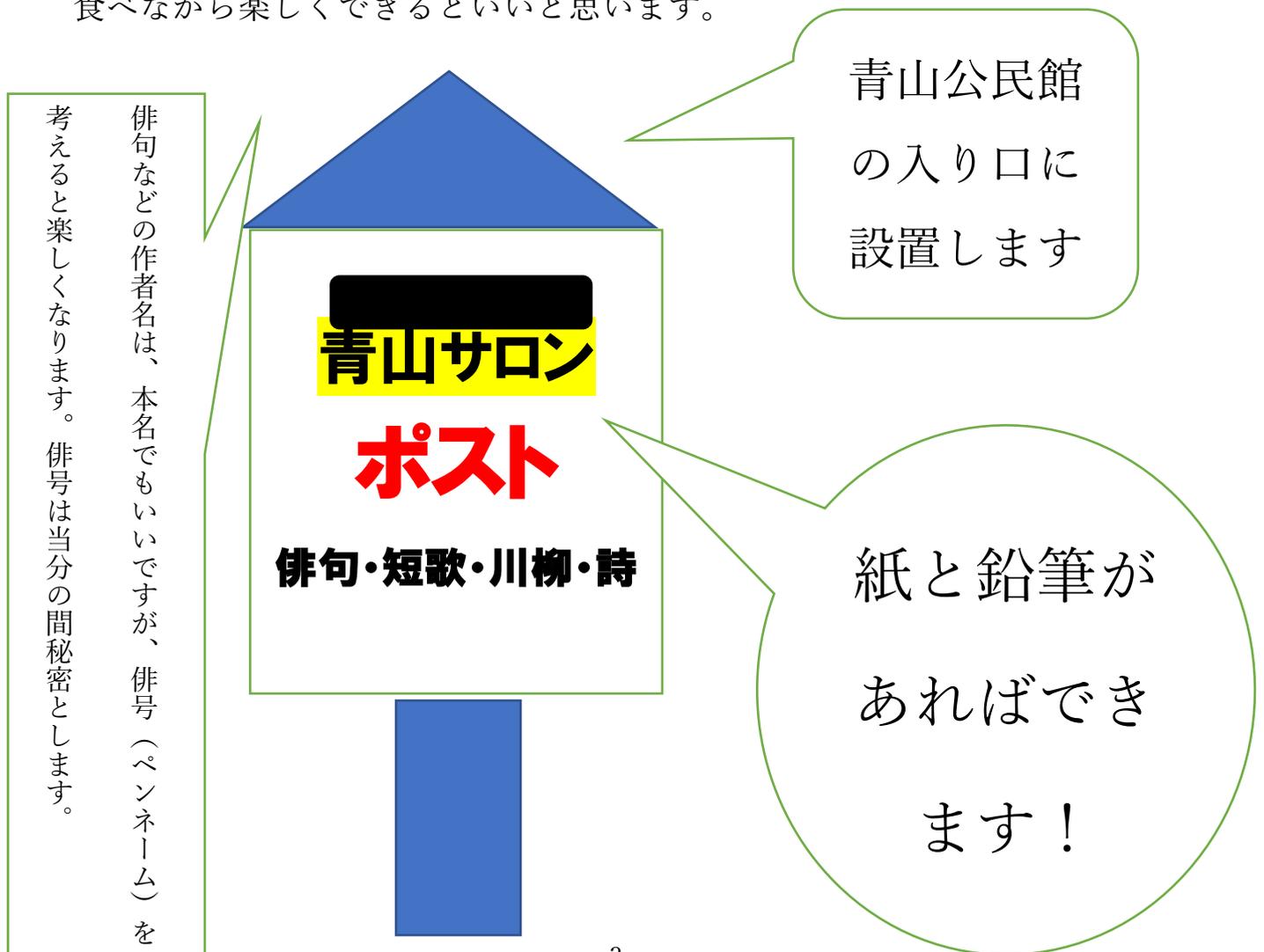
川崎博通

★五十代老けるに早いカズダンス

大塚眞男

これからの進め方（案）

1. 青山サロンの「ハイクだより」で、**夏井いつき先生**の「俳句の作り方」を紹介する。とともに、「宮日新聞」の月曜日の「宮日文芸」などから俳句や短歌、川柳をできるだけたくさん紹介して読んでもらう。
2. 青山のみなさんが作った俳句や短歌、川柳などを青山公民館のポストに入れてもらう。それを毎月の「ハイクだより」で紹介していく。
3. できれば、俳句の先生に講師として来ていただいてみんなの俳句を添削、指導してもらう。
4. それから今後、公民館で集まってみんなで「俳句会」をひらく。飲みながら、食べながら楽しくできるといいと思います。



渥美清

俳号・風天

ふうてん

の俳句

赤とんぼじつとしたまま明日どうする

秋

ただひとり風の音聞く大晦日

冬

鍋もっておでん屋までの月明り

冬

テレビ消しひとりだった大みそか

冬

台所誰も居なくて浅利泣く



寅さんが俳句!?
俳号は言わずと知れた「風天」
話題の天才、渥美清の知られざる俳句人生。元新聞記者が渾身の力をこめて追った、名作時代小説。 大正の風、文藝1800号、本頁111-117

朝寝して寝返りうてば昼寝かな

行く年七かたないねていよう

冬

遠くでラジオの相撲西日赤く

好きだからつよくぶつけた雪合戦

冬

